

事務事業名		加茂岩倉遺跡周辺整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総 計 画 的 体 系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	都市計画グループ	課長名	小村利之
	施策名	(32)地域文化の振興		担当者名	保科 浩二	電話番号	0854-40-1064 (内線) 2462
	目的 対 象	市民	意 図	統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。			
	基本事業名	(096)地域文化の保存継承		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 1 項 目 中事業 中事業 2 5 4 5 0 2	文化施設整備事業 加茂岩倉遺跡周辺整備事業	
目的 対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	平成25年度に、中国横断自動車道尾道松江線の加茂岩倉パーキングエリア隣に、加茂岩倉遺跡公園駐車場及び交流広場が整備され、高速道路の利用者が当駐車場に駐車し、そこから徒歩で直接加茂岩倉遺跡を訪れることができるようになった。 平成26年6月に策定された加茂岩倉パーキングエリア地域拠点整備事業整備計画では、加茂岩倉パーキングエリアと加茂岩倉遺跡ガイダスを最短で結ぶ遊歩道及び休憩所の整備を行うこととしており、平成27年度には遊歩道の測量を実施、28年度には設計を実施し、29年度には遊歩道及び休憩所の整備工事を行った。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ○遊歩道・休憩所の整備を行った。 遊歩道設置工事 L=608m ・工事請負費 14,956千円	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 平成29年度完了				
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	ア 整備施設数	箇所	0	0	1	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	①市民 ②市外の人	ア 雲南市人口	人	39,032	38,506	37,794	
		イ 市外人口	千人	127,056	126,894	126,668	
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	遺跡及び周辺施設の整備により、多くの来訪者が加茂岩倉遺跡ガイダスを訪れ、全国最多の銅鐸出土地である加茂岩倉遺跡の歴史・文化について理解関心が深まるようにする。	ア ガイダス入館者数	人	5,598	4,325	4,349	
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
工事請負費:14,956千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	5,100	2,100	14,200	
	その他	千円				
	一般財源	千円	355	114	756	
	事業費計(A)	千円	5,455	2,214	14,956	
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	160	50	90	
	延べ業務時間	千円	626	198	367	
	人件費計(B)	千円	6,081	2,412	15,323	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成25年度に、中国横断自動車道尾道松江線の加茂岩倉パーキングエリア隣に、加茂岩倉遺跡公園駐車場及び交流広場が整備され、高速道路の利用者が、当駐車場に駐車し、徒歩で直接遺跡を訪れることができるようになった。	遺跡の管理、積極的な活用に向けて、地域、ボランティアが担えるよう環境づくりに努めている。	「施設ガイドの後継者づくりをしてほしい」との要望あり。 銅鐸出土状況の復元展示や解説パネルの劣化が指摘されている。 加茂岩倉遺跡をPRする看板等の設置が要望されている。

事務事業名	加茂岩倉遺跡周辺整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成29年度に完了した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	平成29年度に完了した。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		平成29年度に完了した。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人員で対応し、平成29年度に完了した。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人員で対応し、平成29年度に完了した。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	受益者は、全ての市民・市外住民を想定しており、一部の受益者に偏ったものではない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この事業により加茂岩倉パーキングエリアと遺跡ガイダンスを最短で結ぶ遊歩道の設置が完了した。より多くの高速道路利用者が、遊歩道を利用し遺跡ガイダンスを訪れ、全国最多の銅鐸出土地である加茂岩倉遺跡の歴史・文化について理解関心が深まることを期待している。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
遊歩道・休憩所の整備を完了したので、遊歩道の利用とガイダンス入館の促進を図る。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			